

大河原教育事務所管内の防災主任研修会地域別研修会で講義しました（2019/11/1）

テーマ：地域防災

場所：宮城県大河原合同庁舎

11月1日（金）、宮城県大河原合同庁舎にて、当研究所の橋本雅和助教（災害研究リスク部門）が大河原教育事務所管内の防災主任を対象に講義を行いました。教育庁宮城県総合教育センターは、学校における防災教育等に係る推進的な役割を担う人材を養成することを目的として地域別研修会を主催しており、大河原教育事務所館内の小中高校の防災主任約70名が研修会に参加しました。

橋本雅和助教は、「近年の河川災害の特徴と避難」というタイトルで講義を行い、平成30年7月豪雨や令和元年台風第19号等で生じた河川災害の概要を説明した他、水害を避けるための日頃の備えについて具体的な例を紹介しました。

小河原管内の丸森町では、令和元年台風第19号に伴う豪雨で土砂災害や河川氾濫が生じたために多くの人的被害が出ました。聴講者からは「土砂災害の危険度は河川災害の危険度に比べて、豪雨後も長く続くが、安全の判断はどのように行ったら良いか」、「天気図の見方がわからない人たちに向けて、どのように啓発を行ったら良いか」等、教育現場における災害対応のあり方についての質問を受け、活発な議論をすることができました。



文責：橋本雅和（災害リスク研究部門）